

1 次の文章を読んで、あとの(1)から(5)に答えましょう。

日本人は世界でも稀に見る虫を愛する民族であるといわれている。

古来、日本人はホタルの光や秋の虫の音などに心を寄せてきた。今でも、子どもたちが虫捕り網でセミやトンボを取ったり、カブトムシやクワガタを飼育する国は、世界でも珍しい。

しかも、日本では農作業で駆除した害虫さえ供養し、供養の碑を建てたのである。雑草が単に「草」と呼ばれていたように、害虫もまた、単に「虫」と呼ばれていた。単純な悪者ではなかったのである。

どうして、日本人は困り者の雑草や害虫を含めて、森羅万象を愛したのだろうか。それには、日本人の持つ自然観が無関係ではないと私は思う。

「自然観」とはいうものの、そもそも日本には「自然」という言葉はなかった。

「自然」という言葉は、明治時代に「nature (ネイチャー)」という言葉が西洋から入ってきたとき、その訳語として作られた造語である。

もっとも「自然」という言葉自体はあった。しかし、それは「おのずからそうであること」「ひとりであること」というような意味であって、現代のような「ネイチャー」というニュアンスはなかったのである。

ア どうして、日本には「自然」という概念がなかったのだろうか。

西洋では神が人を作り、人のために動物や植物などの自然が作られた。だから、人々は自然の恵みを自由に利用することを許された存在だったのである。

一方、日本では動物や植物は、人間と同じ命を持つ存在であり、敬われたり、供養されるべき存在でもあった。つまり、人間と生きものたちは対等だったのである。

西洋の人たちにとって、自然は人と相対するものであり、支配するものであった。しかし、日本人にとっては、人もまた自然の一部であった。人は自然に内包される存在だったのである。

家の外から見れば家というものを認識できるが、ずっと家の中にいれば家の存在がわからないように、自然の一部である日本人にとって自然は、ごく身のまわりにおいて認識できないものであった。だからこそ、日本には「ネイチャー」を意味する言葉がなかったのである。

西洋では「自然保護」や「動物愛護」の概念が進んでいる。

環境破壊が進んだ文明社会では、自然保護や動物愛護の考え方は重要である。しかし、そこには自然は人間の所有物であり、人間は自然よりも上の存在であるという西洋の思想が根底にある。だからこそ、人間が保護したり愛護しなければならぬというのである。

それに対し、日本人の自然観では「自然保護」「動物愛護」という発想になりにくい。日本人の自然観では、他の生きものも、人間も同じ自然の一部である。つまり対等な関係なのだ。

対等な関係として、日本人は自然に対して全力で向き合ってきた。

ましてや、高温多湿な日本の自然は手強い。雑草はすぐに伸びてくるし、害虫も多い。部分的に見れば失われている希少な自然はあるが、放っておけば何かしらの緑が回復するのが、日本の自然なのだ。これでは「保護」という意識になりにくい。

イ 日本人がヨーロッパの人々に比べて環境問題に対する意識が低いように見えるのは、そのような自然観の違いが根底にあるからだろう。

しかし、同じ理由で、日本人は昔から自然の脅威と全力で向き合ってきたといえる。

そして、自然と対等な関係だからこそ、厳しい戦いの中で、人々はそこに尊敬の念を抱かずにはいられなかったのではないだろうか。

人と自然は、戦いの中で友情が芽生える、良きライバルのような関係だったのかもしれないと私は思う。そして、ウ 日本人にとっては雑草もまた、憎らしくも愛すべきライバルだったのであろう。

稲垣栄洋著『競争「しない」戦略』による

(1) ー線「森羅万象」の「万」は数の単位を表し、ここでは「非常に数が多い」という意味です。このように、漢数字(百・千・万もふくむ)が使われている四字熟語を「森羅万象」以外で一つ書き、それを使った例文を書きましょう。

(2) 日本人にとって、害虫や雑草とはどのような存在でしたか。最も適切なものを次から一つ選び、番号で答えましょう。

- ① カブトムシのように観賞用にかわいがる存在。 ② 有害なものとして、徹底的に駆除したい存在。
③ ふつうの草や虫とは区別する存在。 ④ 単純な悪者にはできない存在。

(3) ーア「どうして、日本には『自然』という概念がなかったのだろうか」とありますが、それはなぜですか。西洋と日本の考え方のちがいに着目して、「支配」と「内包」という言葉を使い、「くから。」で終わるよつに、六十文字以内で書きましょう。(、や。や。「なども一字に数えます。)

(4) 「イ」日本人がヨーロッパの人々に比べて環境問題に対する意識が低いように見える」とありますが、どのような取り組みをすれば、日本人の環境問題に対する意識が高まると思いますか。あなたができる取り組みを考えて一つ書きましょう。ただし、四十字以上五十字以内で具体的に書きましょう。(、、や。や「」なども一字に数えます。)

(5) 「ウ」日本人にとっては雑草もまた、憎らしくも愛すべきライバルだった」とありますが、それはなぜですか。筆者の考えを「日本人は」からはじまるように、五十字以内で書きましょう。(、、や。や「」なども一字に数えます。)

2 これまでのあなたの経験の中で、「環境保護」または「動物愛護」をするうえで大切なことは何だと思いますか。どちらか一方を選んで解答欄の言葉を○で囲み、自分の体験とそこで学んだことをふまえて、具体的に二百字以内で書きましょう。(、、や。や「」なども一字に数えます。段落分けはしなくてよろしい。「マス目から書き始めましょう。)